

明けましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災・原発事故等、想像を絶する大震災に見舞われ、その後も、欧州危機、タイ洪水、政情不安と相次ぐ逆風が日本経済を吹きつけ、戦後最大の危機に直面しております。

支部会員の皆様方におかれましては、「勇氣と信念」を持って着実に前進する事が最良の策であり、「ピンチをチャンス」と捉え前向きな姿勢で、この難局に立ち向かっていただきたいと思っております。

本年は支部総会開催の年でもあります。

6月以降の開催に成ろうかと思いますが、決定しだいでご案内しますので、是非・是非出席をお願いします。

皆様の一層のご支援・ご協力お願い申し上げます。

皆様にとり、本年が「幸」多き年となりますことをお祈りいたします。

1) 昨年11月19・20日に第62回農学祭が静大静岡キャンパスにて開催されました。

本年は第1回「キャンパスフェスタ in 静岡」と並行・連携して開催されました。

- ・東静岡駅前より静大まで無料のシャトルバス、大学構内巡回無料バスも運行。
- ・公開授業：・土壌微生物の働き。森林生態学の働き。安全・安心な食品の選び方。
- ・研究室訪問：応用生物化学科、共生バイオサイエンス学科、環境森林化学科。
- ・おもしろ実験・体験

手漉き和紙教室、ちょっと変わったトマトに触れてみよう、ピタゴラムシッチ、

木工教室、樹木のいろいろ、かおり当てクイズ、バイオ研究で活躍する生き物達

・模擬店：カフェ、野菜市、定食や屋、古本市、縁日、

イベント：ビンゴ大会、ライブ、パフォーマンス、映画上映(塔の上のラプンテール)

いもほり、公開授業・・・

小生は19日に本部支部連絡会が静大でありましたので、チョット覗きましたが19日は生憎の大雨でしたので校舎内の催しを見学しました。

20日は快晴に恵まれ盛大に開催されたとの事です。

農学部の伝統を若い学生が引き継いでおりました。

2) バイオアカデミックフォーラムに静大が出展・発表をしました。

- ・アジア最大の国際会議・展示会「第10回バイオテクノロジー国際会議」内「アカデミックフォーラム」に出展・発表をしました。

2011年6月29日～7月1日 会場：東京ビックサイト

農学部からは

- ・徳山真治准教授 「微生物を用いた迅速なポリ乳酸分解法」
純米大吟醸「静大育ち」の PR もされたそうです。
- ・茶山和敏准教授 「食品成分のメタボリックシンドローム抑制に関する研究」
お茶に含まれるカテキンやカフェインの効果

3) 静大卓越研究者に河岸教授、朴教授、渡邊教授が選ばれました。

- ・河岸洋和教授 キノコの低分子化合物が引き起こすセ名減少の解明
- ・朴 龍洙教授 遺伝子操作をした蚕による機能タンパク質の発現
- ・渡辺修治教授 植物の香気成分生成・発散の分子機構解明

4) 静大若手重点研究者に原 正和教授が選ばれました。

- ・研究分野: 植物機能利用学

年頭にあたり「ピータードラッカーの選択基準」を贈ります。

第1に、過去ではなく未来を選ぶ

第2に、Problem(問題)ではなく、Opportunity(機会)に焦点を合わせる

第3に、横並びではなく独自性を持つ

第4に、無難で容易なものではなく、変革をもたらすものを選ぶ

過去の成功に安座することなく、昨日を捨てて明日に生きる覚悟を持って道を切りひらいていかなければなりません。